

地域農業再生協議会別生産数量目標の目安の設定方針（案）

1 生産数量目標の目安の考え方

2023 産米の生産数量目標の目安は、地域が需要に応じた米の生産を主体的に行うための判断材料として示すものとする。

2 愛知県の生産数量目標の目安の設定方法

(1) 本県の実情に即した生産数量目標とする。具体的には、①本県の総需要量、②本県産米の消費量を算出要素とし推計し、2023 年産主食用米等生産量とする。

なお、生産数量目標の目安（主食用）は、(1) で推計した生産量から種子用及び学校教育・試験研究用（以下、「種子用等」という。）の生産量を除いたものとする。

(2) (1) で算出した目安を各地域へ配分するが、配分基準単収の見直しにより面積換算値が前年を上回った地域は、前年と同面積に据え置くこととし、各地域の数量の積み上げを本県の目安とする。

3 市町村別の生産数量目標の目安の設定方法

(1) 市町村別の生産数量目標の目安（主食用）は、2 (2) で算出した愛知県の生産数量目標の目安（主食用）を 2022 年産の市町村別の生産数量目標の目安（主食用）の県内占有率に基づき按分して算出する。

なお、配分基準単収の見直しにより、面積換算値が前年を上回った地域は前年と同面積に据え置いた数量とする。

(2) (1) で算出した市町村別の生産数量目標の目安（主食用）に、市町村別の種子用等の生産数量を加えたものを、市町村別の生産数量目標の目安とする。

4 地域農業再生協議会別の生産数量目標の目安の設定方法

(1) 地域農業再生協議会が 1 つの市町村で構成される場合

市町村別の生産数量目標の目安を、地域農業再生協議会別の生産数量目標の目安とする。

(2) 地域農業再生協議会が複数の市町村で構成される場合

市町村別の生産数量目標の目安を合計したものを、地域農業再生協議会別の生産数量目標の目安とする。

なお、1 つの市町村が複数の地域農業再生協議会に属する場合は、当該市町村の生産数量目標の目安を、農業者別の水田面積の占有率に基づき按分する。

5 面積換算値の算出方法

市町村別の面積換算値は、東海農政局が公表する「市町村別収穫量」から算出した各市町村の実単収を使用し、過去 7 年間（2015～2021 年産）の最高・最低値を除いた 5 年分の平均値を各市町村の配分基準単収として、市町村別の生産数量目標の目安の値を除いて算出する。

（昨年度までは、県農業再生協議会が目安を配分した初年度である 2018 年産で使用した単収（過去 7 年間（2010～2016 年産）の最高・最低値を除いた 5 年分の平均値）を使用していたが、5 年経過したため、配分基準単収を最新のデータに更新。）

<参考：市町村と地域農業再生協議会の関係>

地域農業再生協議会名	市町村名	地域農業再生協議会名	市町村名
名古屋市地域農業再生協議会	名古屋市	知多地域農業再生協議会	半田市
一宮市地域農政推進協議会	一宮市		常滑市
瀬戸市地域農業再生協議会	瀬戸市		東海市
春日井市地域農業再生協議会	春日井市		大府市
犬山市地域農業再生協議会	犬山市		知多市
江南市農業再生協議会	江南市		阿久比町
小牧市地域農業再生協議会	小牧市		東浦町
稲沢市農業再生協議会	稲沢市		南知多町
尾張旭市地域農業再生協議会	尾張旭市		美浜町
岩倉市地域農業再生協議会	岩倉市		武豊町
豊明市地域農業再生協議会	豊明市		岡崎幸田地域農業再生協議会
日進市地域農業再生協議会	日進市	幸田町	
長久手市農業再生協議会	長久手市	碧南市地域農業再生協議会	碧南市
東郷町地域農業再生協議会	東郷町	刈谷市地域農業再生協議会	刈谷市
西春日井地域農業再生協議会	清須市	安城市地域農業再生協議会	安城市
	北名古屋市	西尾地域農業再生協議会	西尾市
	豊山町	知立市地域農業再生協議会	知立市
大口町地域農業再生協議会	大口町	高浜市地域農業再生協議会	高浜市
扶桑町地域農業再生協議会	扶桑町	豊田市地域農業再生協議会	豊田市
海部東地域農業再生協議会	あま市	みよし市地域農業再生協議会	みよし市
	大治町	新城市地域農業再生協議会	新城市
	津島市	設楽町農業再生協議会	設楽町
東栄町農業再生協議会		東栄町	
あまそだち農業再生協議会	愛西市	豊根村地域農業再生協議会	豊根村
海部南部地域農業再生協議会	弥富市	豊橋市地域農業再生協議会	豊橋市
	蟹江町	豊川市地域農業再生協議会	豊川市
	飛島村	蒲郡市地域農業再生協議会	蒲郡市
		田原市地域農業再生協議会	田原市